

お客様へ

# お知らせ



お客様が **故障かな？** と勘違いしそうな事例をあげています。  
よく読んでご使用ください。

## 事象 1

**Q1**：便座があたたかくないときがある？




**A1**：節電ランプが点灯している場合は節電中です。

節電中でも便座に座ると一時的にあたたかくなります。

便座ヒーターを切って節電している場合は、あたたかくなるまでに約15分かかります。

運転  便座

温水  節電

点灯する  
(オレンジ色)

〈ウォシュレット本体表示部〉

### おまかせ節電中

トイレを使用した時間帯をウォシュレットが記憶していき、あまり使用しない時間帯を見つけ、自動で便座の温度を下げ、(約26℃)節電します。

●あまり使用しない時間帯を見つけるまで、約10日かかります。

運転  便座

温水  節電

点灯する  
(緑色)

### タイマー節電中

設定すると、毎日その時間に自動で便座ヒーター・温水ヒーターを切って節電します。

3・6・9 時間のいずれかの時間を設定できます。

### おすすめの節電!

おまかせ節電のはじめの設定は「入」になっています。

(機種によってはランプの配置が異なります。)

●それぞれの節電は、お好みで「入」「切」の設定ができます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

※裏面も必ずお読みください。



このQRコードは  
メーカー管理用です。

2011.12.9 D08391

## オート開閉機能付の場合

自動で開く動作は、**焦電センサー（熱の変化で検知するセンサー）**で行っています。  
自動で開く動作を説明しますので、よく読んでご使用ください。

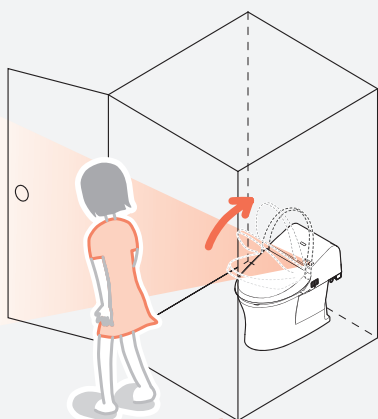
### 事象2

#### Q2：便ふたが勝手に開く？



**A2**：①トイレのドアを開けている場合、ウォシュレットの前を横ざると、便ふたが開くことがあります。

廊下を歩行する場合 (図はウォシュレットGG)



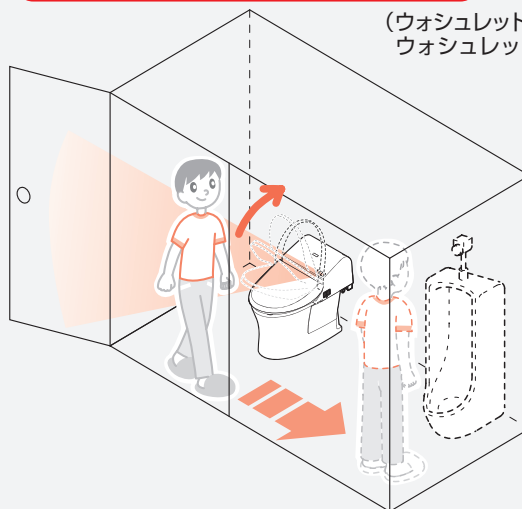
#### なぜ？

- 焦電センサーは、体温とトイレ室内(トイレのドアや壁)との温度差を検知するセンサーです。検知する範囲が広く、距離を調整することができません。そのため、ウォシュレットの前を横ざると、人を検知して自動で開くことがあります。不都合がある場合には、オート開閉を「切」にしてリモコンのボタンで便ふたを開閉してください。

**A2**：②小便器と隣り合わせの場合、ウォシュレットの前を横ざると、便ふたが開くことがあります。

小便器等と隣り合わせの場合

(ウォシュレットの図はウォシュレットGG)



### 事象3

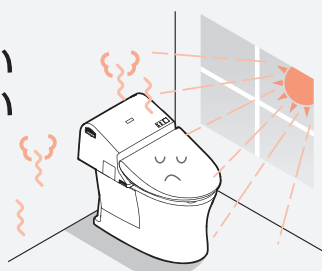
#### Q3：便ふたの開くタイミングが変わった？

(以前よりタイミングが遅くなった、または早くなった)



**A3**：夏場などで気温が高い場合は、体温との差が小さく、検知しにくくなります。

(便器に近づかないと便ふたが開かないことがあります。)



#### なぜ？

- 焦電センサーは、体温とトイレ室内(トイレのドアや壁)との温度差を検知するセンサーです。そのため、夏場などトイレの室温が高い場合、体温とトイレ室内の温度差が小さくなるため、検知しにくいことがあります。(冬場のほうがより早く検知します。)